

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：飛行船	種別：生活介護	
代表者氏名：飯田 誠	定員（利用人数）：50名	
所在地：〒246-0031 横浜市瀬谷区瀬谷5-15-5 グラウンドール1階		
TEL：045-300-3177	ホームページ： <a href="https://www.dekkaisora.jp">https://www.dekkaisora.jp</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2012年10月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人でっかいそら		
職員数	常勤職員：17名	非常勤職員：7名
専門職員	（専門職の名称）：名	サービス管理責任者：3名
	介護福祉士：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	訓練室兼食堂	洗面設備
	作業室	トイレ
	相談室兼事務室	静養室

## ③理念・基本方針

## &lt;法人理念&gt;

「あきらめない、投げ出さない、くじけない」

## &lt;基本方針&gt;

●利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

●関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図り、利用者の意思を尊重し適正できめ細やかなサービスを提供する。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

## &lt;施設・事業所の特徴的な取り組み&gt;

●「笑顔で通所、笑顔で帰宅。」をテーマに日々のプログラムを提案しています。余暇活動は、季節毎に変化をつけて、楽しめるように企画しています。また、福祉サービスの質の向上を目指して、外部で行われる研修や、インターネットを使用した研修を積極的に受講しています。

●事業所では、「気持ちの良い挨拶。」「居心地の良い環境づくり。」「楽しいプログラム。」を基本方針として取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年07月11日（契約日） ～ 2022年12月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【特定非営利活動法人でっかいそら「飛行船」の概要】

●「飛行船」（以下、当事業所という）は、特定非営利活動法人でっかいそら（以下、法人という）が運営する生活介護事業所です。法人は、「様々な障害を抱える方々を、私たちの行う様々なサービスによりやさしく包み込み、安心して生活していける環境を作ること」を目指し、知的障害者の就労・生活支援総合事業として通所事業所・就労支援事業所・グループホーム等、多くの施設や事業所を横浜市内で運営しています。

●当事業所は、相鉄線「瀬谷駅」から線路沿いの道路を徒歩で5分、と分かりやすい場所に位置しています。事業所内は、全面フローリングの落ち着いた雰囲気のある大きなホールで、のびのびとレクリエーションできるスペースを有し、大きなスクリーンが設置され、ビデオ鑑賞など迫力ある映像が楽しめます。また、分室として平成30年に定員10名の「紙飛行機」・平成31年に定員10名の「紙風船」が開所され、3事業所の定員は合計50名で、主に知的障害者を受け入れています。高齢者の方を中心としたグループ・軽作業が好きな方や得意な方のグループなど、利用者の特性に合わせて4グループに分かれ、グループごとの活動を提供し、利用者の意向やニーズを尊重し、自立につながるような個別支援計画を作成して支援を行っています。

◇特長や今後期待される点

1. 【あきらめない支援】

法人は、理念の「あきらめない、投げ出さない、くじけない」の実現に向けて障害者への対応を進めています。その範囲は、放課後サービスからグループホームまで幅広いジャンルに亘っています。「飛行船」は、「紙飛行機」・「紙風船」の3つの事業所があります。「飛行船」の利用者（30名）は基本的には生活介護を受けていますが、一人ひとりの能力に応じて、チラシ折りや封筒入れ等の軽作業を行いながら支援を受けています。「紙飛行機」では、高齢の知的障害の利用者（10名）が介護予防体操や散歩をしながら過ごし、スヌーズレンリラクゼーション（心地良い刺激）等のサービスを提供しています。「紙風船」は、軽作業が好き・得意な利用者（10名）が1日3時間の作業で自主製品の製作を行い、レクリエーションや地域交流等、多種多様な支援を行っています。「飛行船」は、障害をひとくくりにせず、その人に必要な介護、その人ができること、楽しめること、苦手なこと等を知り、利用者主体の支援を行っています。

2. 【生活しやすい環境の整備】

利用者において、障害特性に応じた配慮及び対応や、必要とする支援が個々に異なることを理解し、それぞれの事業所で利用者に応じた過ごしやすい環境整備に力を入れています。「飛行船」では、多人数で過ごすことが苦手な少数の利用者に対して、少人数で過ごせる部屋を用意したり、大きな声を出しても大丈夫な環境を整える等、安心して過ごせるよう支援しています。「紙飛行機」は、高齢の利用者が中心なので機能維持・向上を支援し、スヌーズレンを取り入れ、リラクセスして穏やかに静養できる環境を用意しています。「紙風船」においては、作業で自主製品を製作し、販売する楽しみを持つ他、買い物や外食、レクリエーション等、軽作業が好きな利用者、得意な利用者を楽しんでもらえる環境を整備しています。それぞれの利用者がその場所で楽しめるよう職員は工夫し、必要な援助を行っています。

### 3. 【利用者の特性に合わせた生活支援】

「飛行船」グループは、利用者の特性や年齢等を考慮して、「飛行船」（2グループ）・紙飛行機・紙風船と4つのグループに分かれ、利用者一人ひとりの強みを生かしながら本人の意向やニーズを尊重し、自立につながるような個別支援計画を作成して支援しています。利用者の年齢は20歳未満から70歳程度までと幅広く、障害支援区分4～6の利用者が多く、多様な支援が必要となります。利用者支援として、①生活支援、②機能訓練、③創作・文化活動、④生産活動のそれぞれの項目について、利用者の障害程度や特性に合わせて作業や活動を実施し、多様なプログラムを提供しています。利用者の行動特性は時代と共に変化しており、障害による行動や生活の状況等を把握し、職員間で支援方法等の理解・共有が必要となります。今後、職員一人ひとりの目標設定と目標達成度の確認を行い、様々な課題に対する専門性の向上に取り組むことが期待されます。

### 4. 【地域を通しての利用者の社会的な生活体験の提供】

利用者が地域の人々と交流を持つことは「社会的な生活体験」を得るのに大切なプロセスと考えており、毎週水曜日に事務所前で自主製品の販売を行い、駅・区役所・ケアプラザでも販売し、地域の方と交流を図っています。地域の特別支援学校等と連携し、販売会も実施しています。地域の自治会に加入し、赤い羽根共同募金の活動や公園の清掃活動、地域のお祭り等に参加して、社会的なルールを学ぶ機会としています。買い物などの日常的な活動についても、近隣スーパーなどを利用しています。また、法人本部の体育館を一般公開し、瀬谷区の障害者・高齢者・子育て世代を対象とした、地域の福祉ニーズ等を把握するための取り組みを行っています。現在、自主製品の販売促進や啓発に取り組む瀬谷区障害者地域自立支援協議会「日中活動支援部会」の部会長を法人自主管理部の責任者が努めていますが、ぜひ、地域の福祉向上のため、関係機関との連携を継続していかれることを期待しています。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 NPO法人でっかいそら 飛行船

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

法人の理念や基本方針を全職員で改めて確認し合い、ベクトルを合わせることが出来たことが非常に良かったです。

また、ご家族から率直な意見を聞くことが出来、改善すべき点がたくさん見つかりました。足りない部分を補い、職員全員、日々学び、より良い事業所にしたいと思います。

《評価後取り組んだ事として》

1. 職員の顔と名前が一致しないとの声に、名前と顔写真、コメント（一言）を載せたもの  
を作成中です。

## ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり